

首都圏中央連絡自動車道 (大栄～横芝)



首都圏中央連絡自動車道（圏央道）とは？

路線の概要

圏央道は首都圏全体の発展とひとりひとりの豊かな暮らしのため

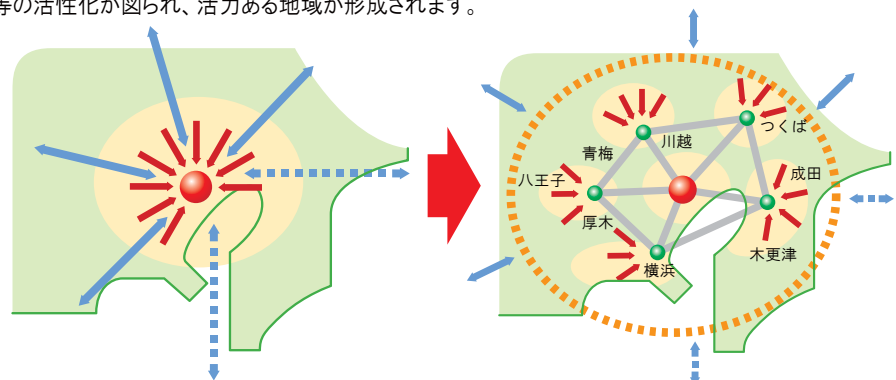
一般国道468号首都圏中央連絡自動車道（以下「圏央道」という）は、東京都心よりおおよそ半径40～60kmに位置し、横浜、厚木、八王子、川越、つくば、成田、木更津など主要な都市を結ぶ環状道路で、総延長約300kmの高規格幹線道路です。千葉県内の圏央道は、茨城・千葉県境から東関東自動車道館山線までの延長約95kmで、東京湾アクアライン、東京外かく環状道路などと連携することによって、首都圏に流入する交通を分散し、流れを円滑にして首都圏の慢性的な交通渋滞を緩和するとともに、首都圏の様々な機能の再編成や産業活動の向上などを図る上で重要な役割を果たすものです。また、首都圏の交通渋滞の緩和により走行速度が向上し、自動車から排出される二酸化炭素も削減され、地球温暖化対策に効果があります。（3環状道路完成の場合、二酸化炭素削減量年間約200～300万トン）



期待される効果と役割

沿線都市間の連絡強化と沿線の地域づくりの支援、活性化

◎主要な中核都市等を連絡・連携することにより、都市圏全体のバランスのとれた発展が図られます。（分散型ネットワーク構造の形成）
◎首都圏の広域ネットワークを形成することにより、沿線地域において企業立地・市場拡大・生産活動等の活性化が図られ、活力ある地域が形成されます。



現在 一極依存型構造

将来 分散型ネットワーク構造

災害時等の緊急輸送路の確保

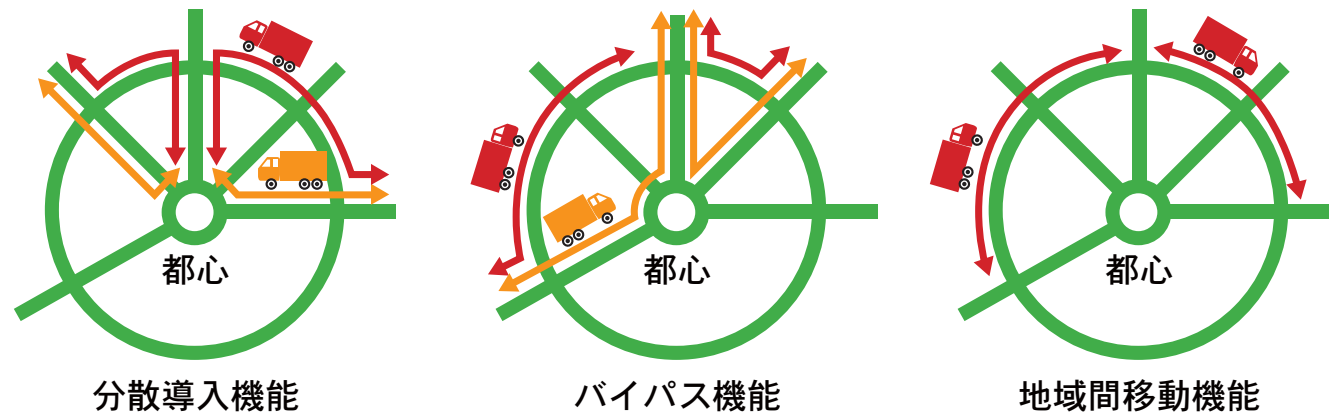
◎災害などで通行不能な区間が生じても、代替ルートが確保され、緊急物資の輸送や災害救助活動等の交通路が確保できます。



災害時の迂回機能

首都圏の道路交通の円滑化

◎郊外から都心部への交通を分散導入させたり、都心に起終点を持たない通過交通を迂回させることによって、首都圏の道路交通の円滑化を図ります。また、周辺的生活道路においては、交通量の減少に伴い、事故の削減も期待できます。



分散導入機能

バイパス機能

地域間移動機能

圏央道（大栄～横芝）

計画概要

- 【道路名】一般国道468号首都圏中央連絡自動車道
- 【区間】千葉県成田市吉岡～千葉県山武市松尾町谷津
- 【車線数】4車線
- 【規格及び設計速度】第1種第2級（自動車専用道路）100km/h
- 【延長】18.5km

【各市町の本線通過延長と人口】

市町名	通過延長	通過比率	人口
成田市	3.8km	21%	132,459
多古町	8.0km	43%	14,379
芝山町	2.3km	12%	7,304
横芝光町	4.0km	22%	23,161
山武市	0.4km	2%	50,660
計	18.5km	100%	

人口は平成30年1月1日現在

【連結位置及び連結予定施設】

連結位置	IC,JCT名称	連結予定施設
成田市	大栄JCT	東関東自動車道(水戸線)
	(主)成田小見川鹿島港線IC(仮称)	(主)成田小見川鹿島港線
多古町	国道296号IC(仮称)	一般国道296号
山武市	松尾横芝IC	(主)成田松尾線 銚子連絡道路

IC（インターチェンジ）：自動車専用道路と一般道路とを連結する施設です。
JCT（ジャンクション）：自動車専用道路を相互に連結する施設です。

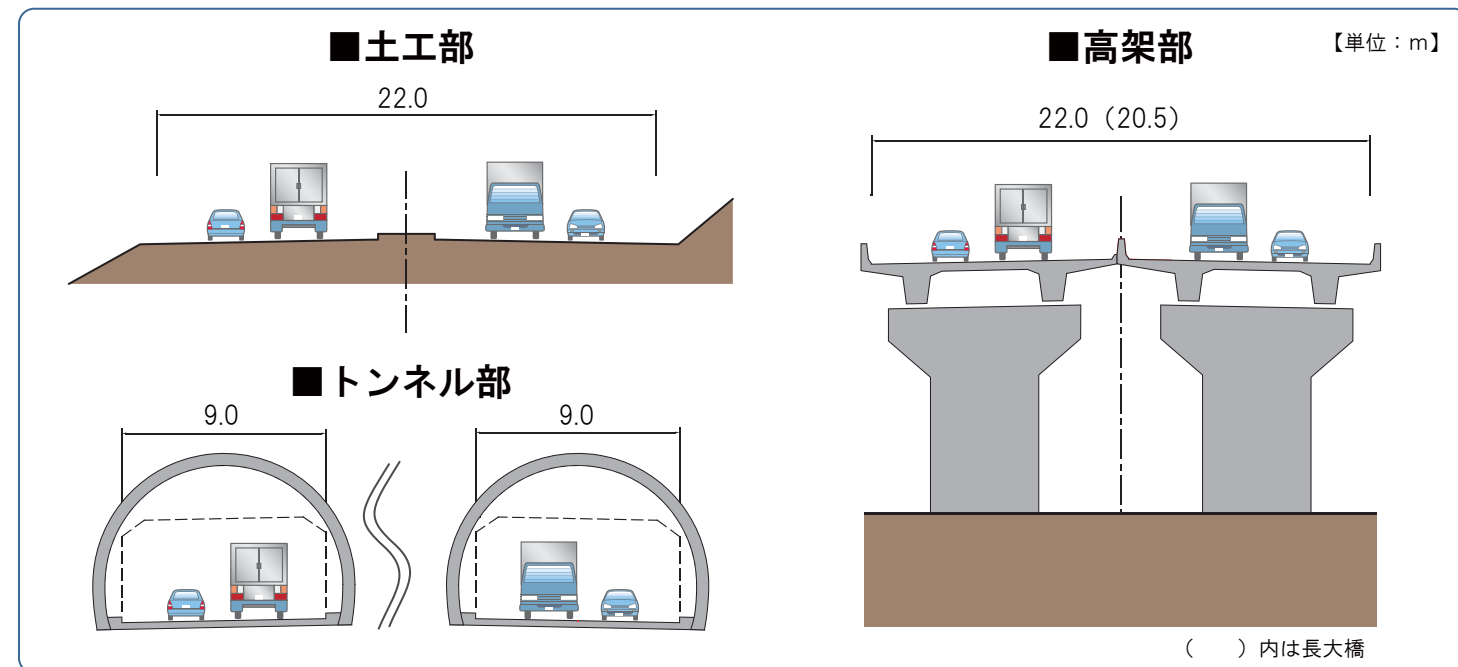
【これまでの経緯】

- H9.2 基本計画決定
- H20.1.18 都市計画決定 環境影響評価
- H20.10.27～11.16 測量・地質調査説明会の開催
- H24.10.24～H25.2.17 設計・用地説明会の開催

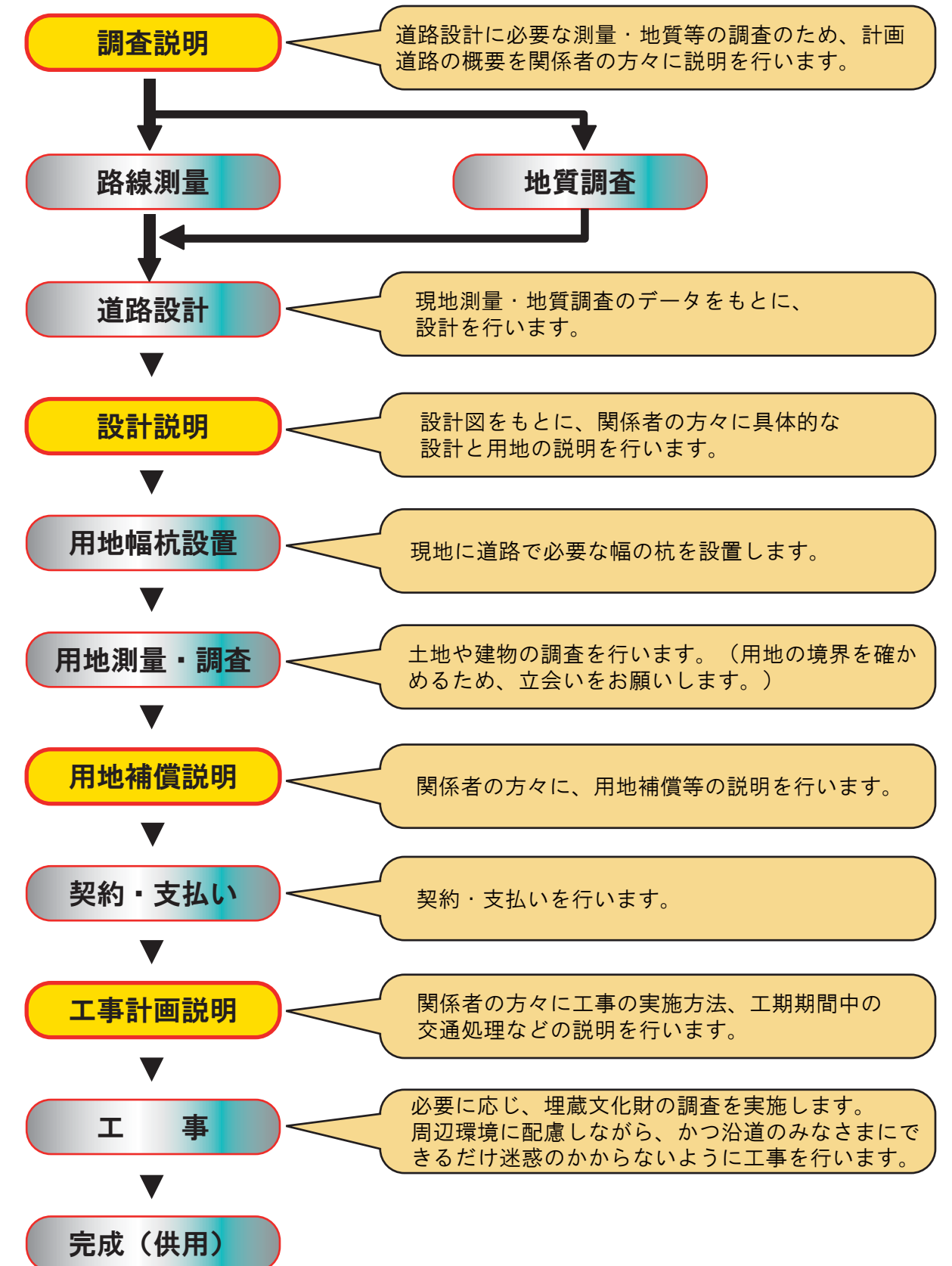
【道路構造別延長】

道路構造	構造別延長	構造別比率
土工部	16.2km	88%
高架部	1.7km	9%
トンネル部	0.6km	3%
計	18.5km	100%

標準横断図



圏央道が完成するまで



□パンフレットに関するお問い合わせは

■国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所

〒263-0016 千葉市稲毛区天台5-27-1 TEL.043-287-0311

